

AT だより 3月号

(アシスティブテクノロジー)

3学期の「AT だより」です。今回は、小学部の機器活用事例と高等部での取り組みを紹介します。

〈小学部〉

(1) 筆順辞典アプリを使って、名前の漢字について学習しました。



自分の名前を視写で書こうとすると、同じ様に写すことに夢中になり、なかなか筆順まで意識することが難しく、プリントでの学習では、どのように漢字が完成していくか分かりにくい一面がありました。そこで、支給されたタブレット



にある筆順辞典アプリを使用して、自分の名前の漢字について学習しました。筆順ごとに赤色で表記されるので、文字が完成されていく様子も分かりやすく、集中して取り組むことができます。

(2) ひらがなやカタカナをタブレットで学習しました。



ひらがなやカタカナの学習で使用しました。3つの学習モードがあります。①リズムに乗って、イラストと一緒に字を学習するモード②単語で言葉



を学習するモード③カルタ取りゲームのように楽しく学習できるように工夫されています。筆順も表示され（○から書き始めるようになっている）、画面上を指でなぞって学習します。きれいに書けないと次に進めないなので、集中して取り組んでいます。

きれいに書けないと次に進めないなので、集中して取り組んでいます。

(3) 時計の読み方をタブレットで学習しました。



問題を選ぶことができ、「とけいをさわる」は、指で針を動かすとその時間を読み上げてくれます。クイズ形式の問題もあり、「とけいをよむ」は、表示された時計を見て、時間を選ぶ問題。「とけいをえらぶ」は、問題の時間はどの時計かを選ぶ問題。「とけいをあわせる」は、指定した時間に時計の針を動かす問題と複数あります。読み方が分からないときに自分で調べたり、全問正解を目指して、クイズに挑戦したりと楽しみながら学習しています。



(4) リモートボウリングをしてみました。

オンラインで「リモートボウリング」をしてみました。離れた場所でタブレットに向かって声を出すと、片方のタブレットから流れる声を音声スイッチが拾い、スイッチにつながれたおもちゃが動いてボールを押し出す仕組みです。なかなか他のクラスとふれあう機会のない中、タブレットでつながって遠隔で遊ぶことができないかと試してみました。声を出すことが難しい児童も、大きな声を出そうとがんばっていました。近くにいないのに自分がボールを転がす様子。不思議な気分です。



〈高等部〉

(1) ATいろいろ

最近ではタブレットの活用が盛んですが、AT(アシスティブテクノロジー)は ICT 機器の活用だけではありません。器具や教材の工夫で子どもを支援し、活動に参加できるようにすること自体が AT 活用です。



イモのつるに手が届かなくてもワイヤーでつなげばイモ掘りできる！



握って離せばアクリル板の反動で投げられる！

(2) 校外でのタブレット活用

校外に持ち出でのタブレット活用もやっています。修学旅行では、「修学旅行のしおり」を自分のタブレットに入れて、持って行っていきました。見学先では写真記録などに使いました。また、移動中や見学先、ホテルなどで先生のタブレットから必要なデータを受け取り、学習や、クイズ大会、その日の振り返りなどにも使いました。



先生から送られたスライドを見ながらクイズ大会！



「よろしくお願いします！」
VOCA アプリを使ってホテルの方にあいさつ

(3) Google クラクルーム活用

コロナで集団学習ができない日々が続いています。高等部では「Google クラクルーム」の活用が始まっています。3 年生の音楽では「高等部 3 年」というクラスを作って、それぞれの教室をリモートでつないで活動しています。体育でも活用がはじまっていて、おもしろい取り組みをしています。体育館に同時に集まれないので、体育館で授業をしている先生が「クラクルーム」で各教室にいる生徒に指示 → 生徒が指示された動画を視聴しながら運動する → 終わったあとに先生にコメントで報告 というものです。コメントでの報告では、普段おしゃべりが苦手な生徒も楽しんでコミュニケーションがとれていました。



動画を見てトレーニング！

「やりました！」
コメントで報告



(4) 卒業アルバムを電子アルバムで

高等部生は就学奨励費でタブレットを購入して活用しています。3 年生はこれまで自分のタブレットを学校生活で使ってきました。最後は卒業アルバムを自分たちのタブレットを使って作成し、そのデータを学年で共有して卒業していきました。写真だけでなく、3 年生みんな卒業式の歌の動画も作成し、持って帰りました。

